

THE MDRT VOLUNTEER EXPERIENCE MDRTにおけるボランティア

ボランティア・システム

The Million Dollar Round Table (MDRT) のボランティアはMDRTのために貢献したいと思う方々にとってやりがいのある楽しい仕事です。リーダーシップを発揮し、未来のMDRTを形造るための活動です。ボランティアはいくつかの階層に分けて考えることができます。詳細は組織図をご参照ください。委員会やタスク・フォースのメンバー、委員長、Divisional Vice President (DVP)、そして役員会メンバーとなります。

MDRTには才能豊かな方々が多いことはとても幸いです。事実、ボランティアを申し出てくださる方の数が、必要なポジションの数より多いのです。そこで、なるべくこれまで活躍する場のなかった方を積極的に指名するように努力しています。

ほとんどの場合、最初の一步はMCCもしくはアニュアル・ミーティングでのPGAです。PGAには10種類の仕事があります。

MCCは各国の会員のネットワークという機能を持ちます。MCCを通して役員会や委員会のリーダーが各国の会員の声を聞くように出来ています。各国の関係団体、保険会社、メディアなどとのタッチ・ポイントとしても重要な役割を果たしています。また、入会促進の活動も各国のMCC役員が中心となり、MDRTを目指す方に情報や励ましを届けています。

アニュアル・ミーティングのPGAは毎年700人もの会員が大会の運営に参加しています。交通整理、講師ホスト、パワーセンターで物品販売、初参加者の歓迎など様々な役割があります。MDRTにおいてPGAがいなければアニュアル・ミーティングは成り立たないとも言えます。

常設委員会とタスク・フォース

PGAおよびMCCで際立った活躍をした方々はいずれMDRTの常設委員会もしくはタスク・フォース（その年の会長が組織する）のメンバーに招かれます。例年20程度の委員会およびタスク・フォースが組織され、それぞれに重要な役割が与えられます。PGAやMCCのボランティアとして献身的な働きをした方々をこうした委員会にお招きし、さらにMDRTのために貢献していただいています。また、委員会でリーダーシップを発揮し、献身的な活躍をした方には委員長をお願いします。

なお、PGAやMCCでの活躍に加え、過去6年間に2回以上アニュアル・ミーティングに出席していることと、成績を計上した成績資格会員もしくは成績資格終身会員であることも要件に含まれます。

執行役員会

委員長としての活躍が著しかった方（通常は複数の委員会）はDVPに任命されます。DVPは全部で8人いて、様々な委員会やタスク・フォースの担当分野ごとに通常3-4の委員会を担当します。また、執行役員会のメンバーとして役員会メンバー（5人）と共にMDRTの意思決定をつかさどる運営機関のメンバーとなります。DVPは担当するすべての委員会とタスク・フォースの会議に参加します。

役員会

様々な委員会で献身的に活躍し、リーダーシップを発揮する一部の会員は役員会のメンバーに推薦されます。役員会は会長、前会長、副会長、次席副会長、事務局長の5人で構成されています。毎年新しい候補者が事務局長として加わり、一人ずつ繰り上がり、前会長までが交代していきます。推薦委員会が次期役員会メンバー候補を推薦します。推薦委員会は現会長、前会長に加え、4人のベテラン会員が選ばれ、前年度の前会長が委員長を務めます。新事務局長候補はアニュアル・ミーティングの総会で正式に役員会メンバーとして承認されます。

推薦方法

MDRTリーダーシップ開発委員会が新年度の役員会メンバーに相応しい会員、およびDVPを推薦します。その際、MDRTの多様性を反映していること、これまでのボランティアとしての活躍などが考慮されます。

評価方法

MDRTのボランティアは働き者であることが求められます。肩書きにあぐらをかくことはできません。そして、毎年高いパフォーマンスと貢献を求められます。すべてのボランティアはそれぞれの上司が毎年評価しています。このプロセスにより、すべてのボランティアが公平に評価され、その結果が記録されています。ポイント制度の評価はデータベースに取り込まれ、翌年のリーダー選びに使われます。本当に貢献度の高い方を次期リーダーに選ぶためのシステムです。

ボランティアの働き

すべてのボランティアの仕事は、必ず通信簿のような評価方法で評価され、記録されています。これは執行役員会、役員会も同じです。ほとんどの委員会はアニュアル・ミーティングでの会議に加え、秋に一度会議を開催するだけです。その会議で委員会としての提案をDVPに提出し、DVPの支持を得た提案は執行役員会に提出され審議されます。執行役員会ではDVPと役員会メンバーが提案を審議し、決議します。それぞれの委員会には、プロ意識の高い担当スタッフが付いているので、その決議に基づき、スタッフが実行までをアシストします。